

善了寺ニュース7月号

今月の主なメニュー

- | | |
|----------|---------|
| 1, 善了寺日記 | 3, お知らせ |
| 2, 行事案内 | 4, 住職雑感 |

発行責任：浄土真宗本願寺派
善了寺住職 成田智信
第252号
発行日：平成29年7月1日

善了寺日記

梅雨の季節、みなさんいかがお過ごしでしょうか。体調にはくれぐれもお気を付けください。

お慈悲に遇うお寺参り

日ごろのおつとめの中で、本当に有難く思うのは、梅雨空の中、お参りくださるみなさんのお姿です。ご法事も、お朝事も、デイサービス、ボランティアに来てくださる皆さんも、そして、善了寺にご縁を頂く多くのご門徒の皆さんのお念仏が、阿弥陀如来のお慈悲のみ声、親鸞さまのお導きそのものでした。お念仏のご縁に遇わせて頂く時、阿弥陀如来のお育てのはたきの中で、先に往生された有縁の懐かしい方も、ご一緒にお参りくださりお勤めくださっていると思いが恵まれてまいりました。私の思い計らい、経験では、考えもおよばないことです。私たちは、お念仏にお育てを頂くお互いなのです。

お念仏を称えることは、阿弥陀如来の仰せをお聞かせいただく事です。それは、私が物事を考え、行動していく、よりどころに阿弥陀如来様の大慈悲と智慧を頂いていくことでした。だからこそ、亡くなった方々ともう一度一緒に勤めする朝が恵まれてくるのです。凡夫の私に「念仏」を称えさせ、阿弥陀如来の願いとはたらきそのものが、苦を超え「よりどころとなり（信心）」、そして必ずお浄土に迎えとる「往生浄土」と誓われたのは、阿弥陀如来でし

た。往生の功德として、

「臨終一念の夕 大般涅槃を超証す」

（『顕浄土真実教行証文類 信巻』）

とお示しくださいます。「大般涅槃」とは悟りをあらわす言葉です。私の都合を超えたさとりの世界から、私のために念仏を勧めてくださるのです。

念仏でなければならなかったわけ

なぜ、念仏でなければならなかったのか。それは、阿弥陀如来様にとって救わずにはおれなかったのは、「今苦惱（自分の思い通りにいかない）を抱える私」だったからです。私の都合に依じて、なんでも私の思うようにしてくることは、本当に、思い通りにならない苦惱の解決になるのでしょうか。私たちは世間を生き、生かされています。世間は、広く煩惱は限りがありません。物欲だけではありません。関わり苦惱こそ煩惱の本質なのです。関わりによって傷ついた心は、関わりによって治されていくのです。だからこそ、苦悩を超える慈悲の関係性そのものを阿弥陀如来が念仏となって恵み与えてくださっているのです。

念仏を称えることは、世間の価値観を超えた願いとはたらきを持つ、阿弥陀如来をよりどころ（信心）に、共に今を生きることでもありません。そこには、「慈悲の鏡」を持つ日暮が恵まれてまいります。鏡は、私の姿を映し出します。そして、本当の姿に出会うからこそ日暮が少しづつ整えられていくのです。煩惱具足のわが身

の歩みは遅々として進みませんが、お念仏のはたらきは途絶えることがありません。お念仏を称えましょう。南無阿弥陀仏の心を聞かせていただきましょう。

慈悲を伝える

お念仏をよりどころに頂く同朋だからこそ、親鸞さまが大切にされたことがあります。それは、お参りくださった方々にほっとして頂く場をつくることです。親鸞さまは、『口伝抄』という本願寺三代目覚如さまがお残しくくださった法語の中で

「葬儀や法事の際、遺族に対して、悲しみにさらには悲しみが増すようには、決して弔ってはならない。もし、そのようにしたならば、慰めたことにはならず、ますます心寂しくさせてしまうことになるでしょう。」

という言葉を残しておられます。お念仏は、悲しみに悲しみを重ね、不安や恐れを煽る教えではありません。南無阿弥陀仏とお念仏を称え、共々にお慈悲に遇わせていただき、お慈悲を伝えていく日々を歩ませていただきましょう。どうぞ、善了寺にお参りください。

次のページに、善了寺に皆さんがほっとできる場をつくりたいという願いから、聞思堂の活用を考えました。是非お読みください。



7月・8月の行事予定

第5弾 石巻よってがいん ボランティアツアー

7/2 ~7/3

定例法話会

7/8・14時

本願寺派布教使 岩崎教大 師

親鸞聖人月命日・浅井成海先生月命日

善了寺法名会定例法要

『今を生かされて』本願寺前門さまご著書読書会

7/16・14時

おみがき

7/22・14時

善了寺法名会 法名の頂き方説明会

7/22・15時30分頃(おみがき終了後)

新盆法要

8/8・10時

※今年新盆を迎える方のみのご法要です。

定例法話会

8/8・14時

講師 法光寺住職 季平博昭 師

お盆法要

8/13 ~ 16

期間中 毎日10時・14時に ご法要

全戦没者追悼法要ならびに

お盆門徒総法要

8/15・14時

聞思堂の新しい小さな一歩

カフェ・ゆっくり堂 プレオープン

2017年 7月 7日(金)

午後2時開店 ~ 午後5時

午後5時から特別イベント

ゆっくり堂の願い~ゆっくり堂社長

中村隆市さんの思いを聞く会~

是非 お越しくださ

懐かしい文化と

新しい暮らしと出会う

情報マガジン

茶 堂~CHA-DEAU~

<http://www.chadeau.com/>

かなり、更新しました。お寺のことをいろんな世代の方に知ってもらいたいと願っています。気軽にアクセスしてください。



発行責任 浄土真宗本願寺派善了寺 住職成田智信

メール: yan0348@gmail.com ホームページ <http://www.zenryouji.jp/>

住所: 横浜市戸塚区矢部町125 電話: 045-881-0348 FAX: 045-881-0379

聞思堂の願い

善了寺の新しい仲間、

カフェ・ゆっくり堂さんとの出会い、

はじめに

みなさん、今年度から、中期事業計画の一環として、善了寺に、新しい仲間を迎えることになりました。その名も「ゆっくり堂」さんです。皆さんが気軽に立ち寄り、ひと息つける、おいしいお茶やコーヒーが飲めて、たくさんの人と出会い、文化を創りだしていく場として、新しい聞思堂をみなさんと一緒に作りあげていきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願ひします。

二〇一七年 七月七日（金）

午後二時開店 ～ 午後 五時
まで

七月七日から七月中は、毎週、木・金・土の三日間のみ、プレオープンいたします。八月の予定はまたお知らせいたします。皆さんと共に創り上げていく空間です。

是非お立ち寄り頂き
ご意見をお聞かせください。

祖父 成田恵門住職が残してくれた地域社会とお寺をいっしょに考えていく姿は、父 成田了恵住職が都市開教寺院として、浄土真宗の教えを伝えていく開教の実践となり、またこの善了寺に還ってきて、その伝灯が、デイサービス事業はじめ、浄土真宗の教えに基づく、聞思堂の建築となり、本堂・客殿・庫裏の建築となりました。そして、この度、「善了寺実践運動」として、善了寺の理念を体現していく運動を皆さんと進めていきたいと思えます。

●善了寺の理念とは

「慈悲を伝える」ことによって「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現」に貢献する。

I 実践目標・1

「慈悲を伝える「法事」「法要」「行事」の実践」一人の百歩ではなく、百人の一步

II 実践目標・2 善了寺実践運動を推進しよう

善了寺実践運動とは、活動理念に基づき、実践目標・Iを達成するための、お寺の伝道活動・デイサービス「還る家とともに」の活動・地域社会の課題に学び、応えるNPO法人カフェ・テラ・テラ等との活動をつなげる運動

実践目標・2に基づく具体的な運動として、「ゆっくり堂」をどうぞ応援してください。ご意見を頂き一緒に育てていただきたい。

「ゆっくり堂」は、善了寺の聞思堂に、自然とのつながりを粗末にしないコーヒーやお茶が飲めて、いのちとの関わりを紡ぎなおす思想に触れることができる場所（日本では茶堂・海外ではカフェやパール）を、善了寺のみなさんと共につくっていききたいと思えます。ゆっくり堂は各地の応援したいものを販売する直営店でもあります。日本各地や海外のローカルコミュニティでのいい取り組みを見つけ、商品化していきます。

○ゆっくり堂のミッション

グローバル経済がいのちの基盤である自然を破壊し、かつてない貧富の格差をはじめとする深刻な社会問題を生み出している現代社会において、私たち「ゆっくり堂」は、いのちを大切にする企業



善了寺法名会

法名の頂き方説明会のすすめ

善了寺法名会では、ご門徒のみなさんに法名を頂いて、お念仏のご縁を深めて頂く御縁づくりを進めております。この度、本年十一月十六日（木）の築地本願寺報恩講法要で、帰敬式を受けていただくために、説明会を開きます。是非ご参加ください。法名を頂くことで、より一層お念仏が日暮の中に生きてきます。是非、ご参加ください。

日時 平成二十九年七月二十二日（土）

午後三時三〇分ごろ（おみがき終了後）

おみがき

お盆を前におみがき（仏具のお掃除）を行います。善了寺の伝灯です。初めての方も是非、ご参加ください。

日時

平成29年

7月22日（土）

午後2時から

3時30分頃まで



7月の御和讃からご紹介

たとひ大千世界に

みてらん火をも

すぎゆきて

仏の御名をきくひとは

ながく不退にかなふなり

仏の御名をきく。それは、南無阿彌陀仏のお念仏にこめられた、阿彌陀様の「われにまかせよ、必ず救う」との願いをきくということです。自分勝手にきいたり、きくことが条件になっているのではありません。今ここに届いているお念仏を大事にしていきましょうということです。毎日が初めてのことで、最期のことといただきながら、ご一緒にお念仏申させていたしましょう。**朝のおつとめにお参りください。**

住職雑感

◎生前に「法名（ほうみょう）」を頂くには、ご本山に申請をしなければなりません。最近では内願法名といって、住職と相談のうえ、自分からどのような「法名」にしたいかを申請できるようになりました。ご本山に納める冥加金は、内願法名は、二五〇〇円、一般法名（法名の内容はご本山におまかせ）は、一五〇〇円です。但し、内願の場合は、帰敬式の二か月前までに申請しなければなりません。

◎今年から、築地本願寺の報恩講帰敬式に、法名会としてみんなで、お参りしたいと思っております。法名を頂き、お念仏の仲間として喜びを一緒に分かち合い阿彌陀様に抱かれたお浄土への安心の日暮を支え合いたいと思います。**是非、法名の頂き方説明会にお越しください。**